

# 地震防災に関するネットワーク型共同研究

(Collaborative Research and Development Project for Disaster Mitigation on Network of Research Institutes in Earthquake Prone Areas in Asia)

アジア地域共通の喫緊の課題である地震防災対策について、各国の自主的な取り組みの基盤となる各国研究機関の研究開発能力の向上を目指して、「建築物のリスク管理システム」「耐震工法」「技術の社会への定着方策」について、共同研究を実施する。実施に当たっては、イコールパートナーの関係を基本に、研究員の相互受入れ、共同研究・実験の実施、WS、TV会議システム等による参加機関相互の双方向の情報交流などを行い、相互の切磋琢磨が図られるようにする。

## < 実施内容 >

研究代表者名 榎府龍雄(独)建築研究所 国際協力審議役  
代表機関名 (独)建築研究所

地震被害軽減の実現に不可欠な3つのテーマを中心に、アジア4ヶ国の幅広い研究機関と連携して共同研究を実施する。

- < 建物のリスク管理システム >
- < 実践的な耐震工法 >
- < 技術の社会への定着方策 >



地震防災対策の推進・被害軽減

各国の研究開発能力の向上

全体調整: 建築研究所  
「建物リスク管理システム」担当

建築研究所

実効的な耐震工法開発

「構造・工法の研究開発」担当

三重大学

「実験計画企画・実施」担当

防災科学技術研究所

「技術の社会定着方策」担当

政策研究大学院大学

共同研究活動

研究者の相互受入れ  
共同の研究、実験  
情報・意見交換  
(WS、シンポジウム、  
テレビ会議など)

各国の幹事機関として  
共同研究を実施

バンドン工科大学

インドネシア

ネパール工科大学

ネパール

プレストン大学

パキスタン

イスタンブール工科大学

トルコ